



- 過去にFMキー局が「東海大学附属望星高等学校」の通信教育番組を放送していた実績あり。
- その後、FM文字多重放送の「見えるラジオ」に使用されたが、見えるラジオの終了以降は「空き帯域」となっている。
(NHK-FMにおけるVICS利用を除く)

送受信には・・・
「音声多重変調器」と「専用端末」が必要
音声は「モノラル放送」

コミュニティ放送では全く利用されていなかった「空き帯域」を有効活用
地域との連携強化や経営安定を目指す

メリット

- 通常番組に傷を付けないモアチャンネル
- 補完放送のため番組編成が比較的自由
- 受信端末は移動できるため一時利用が可能
- 専用端末向けのため狭いエリアや客層に向けたきめ細かな放送が可能



利用シーン

- 自治体・街頭・町内会放送
- 防災・緊急・イベント放送
- 情報弱者向け放送
- 安価な告知放送
- スポーツの応援団放送 等